

高等学校 令和7年度 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 HR11~HR16

教科担当者：

使用教科書： (『明解 歴史総合』帝国書院 )

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる問題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される公民としての自覚、我が国の地理や歴史に対する関心、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される公民としての自覚、我が国の歴史に対する関心、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 歴史の扉 【知識及び技能】 日常生活や身近な地域の諸事象を基に、それらが日本や世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、諸事象と日本や周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校での学習や身の回りの諸事象を起点とし、近現代の歴史の変化について関心を持ち、世界と日本を広く相互的な視野から捉えて歴史を考察する。	地域の歩み 1 東アジアの文明 2 南・東南アジアの文明 3 西アジア・北アフリカの文明 4 ヨーロッパの文明 5 南北アメリカの文明 1章 歴史と私たち 各アゾのちから見る日本と世界の歴史 1章 歴史の特質と資料 資料の特質と読み解き 資料の比較・関連付け 一人1台端末の活用	【知識・技能】 日常生活や身近な諸事象が日本や世界の歴史とつながっていることを理解できた。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの視点から、諸事象について日本や世界の歴史との関連性を考察し、表現できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校での学習や身の回りの諸事象から、近現代の歴史の変化について関心を持ち、世界と日本を広い視野から捉えて、歴史を考察することができた。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	B 近代化と私たち 【知識及び技能】 産業社会と国民国家の形成を背景として人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国の関係などを多面的・多角的に考察し、追究したことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の歴史に存在した課題について関心を持ち、諸資料を活用してそれらが現代における諸課題の形成に関わっていることを理解する。その学習を通して、よりよい社会の実現に向けて課題を展望する。	1章 江戸時代の日本と結びつく世界 アゾのちから見る日本と世界の歴史 2 成熟する江戸社会 3 清の繁栄と結びつく東アジア 4 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ 5 欧米諸国における近代化 1 イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え 4 産業革命で変わる社会 5 イギリスの繁栄と国際分業体制 3章 近代化の進展と国民国家形成 1 1848年～近代ヨーロッパの転機点 2 イタリア、ドイツの統一とロシアの近代化 3 アメリカの拡大と第2次産業革命 4 帝国主義と世界の一体化 5 アジア諸国の動揺と日本の開国 1 「西洋の衝撃」と西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4 黒船の来航と日本の対応 5 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 一人1台端末の使用	【知識・技能】 産業社会と国民国家の形成を背景として人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解できた。 【思考・判断・表現】 近代化の歴史について、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国の関係などを多面的・多角的に考察し、追究したことを表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史における課題に関心を持ち、諸資料を活用してそれらが現代における諸課題の形成に関わっていることを理解し、よりよい社会の実現に向けて考察することができた。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 政治・外交・経済・思想や文化などの様々な面で国際的な結び付きが強まり国家間の関係性が変化したことや、個人や集団の社会参加が拡大したことを背景として、人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、資料から読み取った歴史事象への問いを表現する	4章 近代化が進む日本と東アジア 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本 3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 C1章 第一次世界大戦と日本の対応 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの実存主義的対立の行方 3 ロシア革命と大戦の終結 2章 国際協調と大衆社会の広がり 1 ヴェルサイユ体制の成立 2 東アジアの実存主義的対立の行方 3 中東・インドの民族自決の影響 4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6 日本における大衆社会の形成 一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な面で国際的な結び付きが強まり国家間の関係性が変化し、個人や集団の社会参加が拡大したことにより、人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解できた。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、資料から読み取った歴史事象への問いを表現できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序や大衆化の歴史に存在し現代社会においても調整が求められている問題について関心を持ち、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現に向けて課題を展望することができた。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序や大衆化の歴史に存在し現代社会においても調整が求められている問題について関心を持ち、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現に向けて課題を展望する。	3章 日本の行方と第二次世界大戦 1 世界恐慌が与えた影響 2 フランス人の自衛と拡大 3 政変政治の断絶と満州事変 4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦の展開 6 戦局の悪化と被害の拡大 7 第二次世界大戦の終結とその惨禍 4章 再出発する世界と日本 1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本進出後の東アジア 4 日本の改革と独立の回復 一人1台端末の活用	【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序や大衆化の歴史に存在し現代社会においても調整が求められている問題について関心を持ち、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現に向けて課題を展望することができた。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	

			○	○		1	
3 学 期	<p>D グローバル化と私たち</p> <p>【知識及び技能】 科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになり、人々の生活と社会の在り方が変化したことを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察、構想して探求し、その過程で見出した疑問を自分自身の問いとして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の実現に関心を持ち、自ら主題を設定して、日本とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察・構想し、現代的な諸課題を理解する。</p> <p>定期考査</p>	<p>1章 冷戦で揺れる世界と日本</p> <p>1 アメリカ・ソ連の緊張と緩和</p> <p>2 冷戦下における日本の復興</p> <p>3 第三勢力の形成と親隣民地化</p> <p>4 中東戦争とパレスチナ問題</p> <p>2章 多極化する世界</p> <p>1 揺らぐアメリカと先進各国の変化</p> <p>2 「経済大国」日本の模索</p> <p>3 経済発展に取り組むアジア・南米諸国</p> <p>4 イスラーム復興と冷戦への影響</p> <p>3章 グローバル化のなかの世界と日本</p> <p>1 冷戦の終結と変わる世界構造</p> <p>2 冷戦の終結が与えた世界への影響</p> <p>3 超大国アメリカと中東情勢</p> <p>4 国際環境の変化と日本</p> <p>5 グローバル化による国際社会の姿容</p> <p>一人1 台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 科学技術の革新を背景に人や物の国境を越えての流動が活発になり、生活と社会の在り方が変化したことを理解できた。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて考察、構想して探求し、その過程で見出した疑問を自分自身の問いとして表現できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の実現に関心を持ち、自ら主題を設定して、日本とその他の地域の動向について多面的・多角的に考察・構想し、現代的な諸課題を理解することができた。</p>	○	○	○	12
				○	○		1
						合計	
						78	